

経営状態をとことん見直すことで 課題解消への第一歩に

課題

売上高低下の原因分析と 建築物の大型化への対応

大岡鉄工株式会社は、改正建築基準法の適合工場として国土交通大臣の認定を受け、建築物やプラントなどの鋼構造鉄骨部の設計・製作・施工を業務としてきた。工場内で梁や柱の鉄骨部を製造して、現場で組み上げる一連の作業を受注している。これまでは地場の工務店からの発注による中低層の鋼構造建築物が中心だったが、近年は大手ゼネコンなどの物件を直接受注するようになった。それにともない大規模・高層の鋼構造建築物へと受注内容が変化している。

しかし近年、売り上げが減少しているため、経営状況の見直しが必要になってきた。大規模・高層の鋼構造建築物に対応するには、現在使っている設備では限界があることも早く解決しなければならない課題だった。

支援

財務分析、補助金活用で 売り上げ増につなげる

まんのう町商工会では現状把握のため、経営診断支援事業を実施して財務分析を行った。その結果、生産性については売上高の大きな低下から1人当たり加工高も下がり、業界平均値よりも低い水準であることがわかった。加工高に占める人件費の割合である労働分配率は横ばい傾向で、業界平均値より若干低い状況だ。

そこで専門家を交え、経営状況のヒアリングを実施。その際、専務や常務も同席することで、後継者育成の支援にもつなげ、業界動向や需要動向を調査して、事業計画の策定に向けた支援を開始。公益財団法人かがわ産業支援財団とも連携して、データ分析のノウハウなどの強みを活かしながら進め、スムーズな支援につなげていった。

具体的には、補助金や融資制度について指導を行い、設備に関しては、ニーズに合わせて大口径化、高厚化した鋼材の引き合いに対応できる新しい設備の導入計画の立案を支援。導入に伴う加工ラインの増築に合わせて、5年で2名の雇用拡大も検討した。

また、これら生産性の向上を図るための事業計画作成を支援。設備導入資金には、ものづくり補助金を活用し、融資が有利になるよう経営革新計画の策定を提案。申請を支援することにした。



鋼構造物の柱と梁を接合する加工物

支援にあたっては、データなどに基づいて策定し、計画に具体性をもたせて事業の将来像をイメージすることが大切である。売り上げ計画の策定支援では、直近の決算書3期分の分析を踏まえ、数値の裏付けが明確な計画になるように作成をしていった。

今後も商工会では、事業計画実施のフォローアップを行い、経営状況の見直しから事業計画の策定、各支援機関と連携して専門家による指導など、継続して伴走支援を行っていく予定だ。

支援の経過

期間	支援内容
H29年10月	財務状況についてヒアリングを実施
12月	財務分析報告及び課題抽出と改善提案
H30年3月	ものづくり補助金の申請支援
4月	経営革新計画の策定支援
6月	経営革新計画の承認

会社概要

会社名：大岡鉄工株式会社
 住所：香川県仲多度郡まんのう町吉野下260-1
 電話番号：0877-73-3665
 代表者名：大岡承司
 創業年：昭和23年
 年間売上高：4億7278万円（平成30年）
 従業員数：14名
 商工会名・担当者名：まんのう町商工会・國廣達郎